

Robo-剣 Conference 2017/05/20(Sat)

- Robo-剣におけるMATLAB/Simulinkの活用 -

MathWorks Japan

三田宇洋



Robo-剣 Conference

- 2017年05月20日土曜日 講習会 13:00-18:00

- 会場: 県立青少年センター
- 2.ロボット作りへのMatlab活用(制御、画像処理など) 45分
- マスワークス 三田宇洋
- --講演概要--
- Matlabをロボットプログラミングでどのように活用すれば良いかを解説します。

2



3. MATLABとSimulinkの使い方



MATLABとは?

今回、競技参加者の皆さんに貸し出すツールは下記の通りです。

- (1) MATLAB® 数値計算を得意とするインタープリター型スクリプト言語
- (2) Simulink® 時間の概念を持つブロック線図環境のシミュレータ
- (3) StateFlow® 状態遷移図、フローチャート等で表現されるシーケンス 制御ロジックを記述するSimulinkのオプション
- (4) SimMechnics™
 Simulink上での機構系(剛体)のモデリングオプション
- (5) Simscape™ Simulink上での物理モデリングの基本環境
- (6) Simulink® Coder™ Simulinkのモデルの等価Cコード自動生成
- (7) Real-Time Windows TargetSimulinkのモデルのリアルタイム動作
- (8) Image Acquisition Toolbox™ 実画像データとMATLABのインターフェース
- (9) DSP System Toolbox™ 信号処理のオプションライブラリ
- (10) Image processing Toolbox™ 画像処理の基本

- (11) Control System Toolbox MATLABにおける制御工学
- (12) Computer Vision System Toolbox 動画像の処理
- (13) DSP System Toolbox 信号処理の基本
- (14)MATLAB Coder MATLABソースをコード生成する
- (15) Simulink coder
 Simulinkモデルをコード生成する
- (16)Robotics System Toolbox MATLABとROSをリンクする



MATLABをうまく使いこなそう

- ロボットモデル作成に効率の良いアプローチ
- 真似できるところは真似る。
 - 標準デモ
 - 参考文献(特にこれは参考にしよう)
 - 市販の文献
- MathWorks HPの情報を活用しよう。
 - FAQ
 - http://www.mathworks.co.jp/support/product/technicalsolutions-index.html
 - MATLAB Central
 - http://www.mathworks.co.jp/matlabcentral/



この本も参考になります。

注: 文献[1],[2]と一部内容が重なります。

総合

MATLAB/Simulinkによるモデルベースデザイン入門



著者:三田宇洋

出版社: 才一厶社, 2013 電話番号: 03-3233-0641 ISBN: 978-4-274-21402-8

本書では、プラントモデリング、シーケンス・フィードバック制御系設計、コード生成、SILS、ラピッド プロトタイピング等の観点から、MATLAB、Simulink、その他オプション製品を駆使したモデルベースデ ザインを解説しています。

高等教育の講義・企業研修のテキストで使えるように、イメージのしやすい題材としてDCモータを選び、 講師の使いやすいテキストとなるよう、各章を独立したコンテンツとしており、適度な難易度の課題を実施していく形式となっています。モデルベースデザインの工程を、製品解説のプロセスであるV 字プロセスと対応させながら、具体的に解説します。アドバンス編では、ブラシレスDC モータの例を解説します。

なお、本書内のサンプルプログラムは、オーム社ホームページより提供しています。



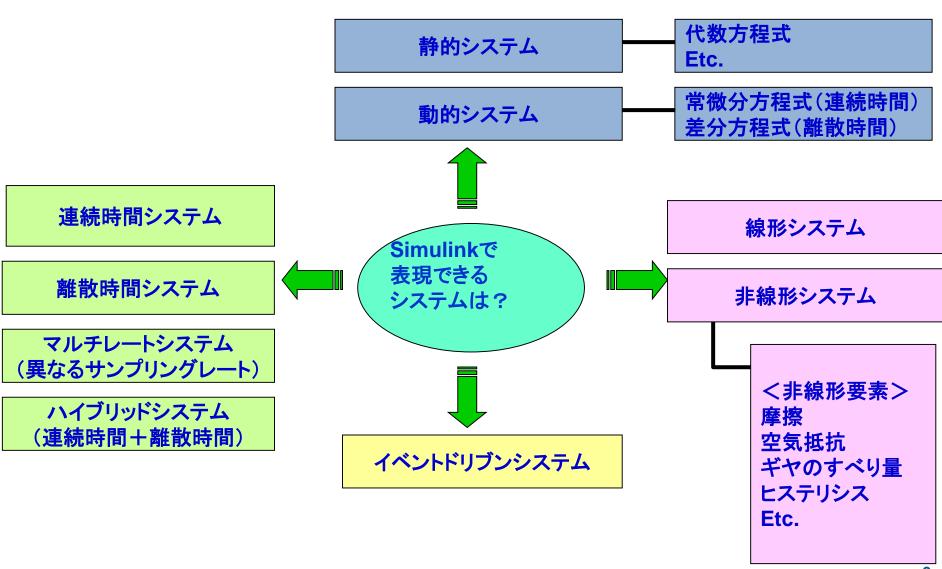


MATLABの特徴

- インタープリター型スクリプト言語
- 数学(行列・ベクトル、関数)計算が得意
- 数百もの数学関数
- この競技で予想される使い方
 - スクリプト 計算、パラメータ定義
 - 関数化



Simulinkの基本





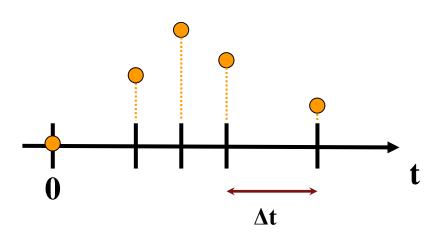
シミュレーションステップ

Simulinkは数値計算をベースにしたシミュレータ



各変数は有限の時間刻み(ステップサイズ)で計算

-ステップサイズ: ∆t



・ 可変ステップ

- ステップサイズがシミュレーション中 に自動調節される
- ・ 固定ステップ
 - シミュレーション中にステップサイズ が変化しない



モデリング(直接表現)

運動方程式は

$$m\ddot{x} = -(c\dot{x}) - (kx) + u$$

整理すると

$$m\ddot{x} + c\dot{x} + kx = u$$

初期値は $\ddot{x}(0) = 0, \dot{x}(0) = 0, x(0) = 0$ とする。

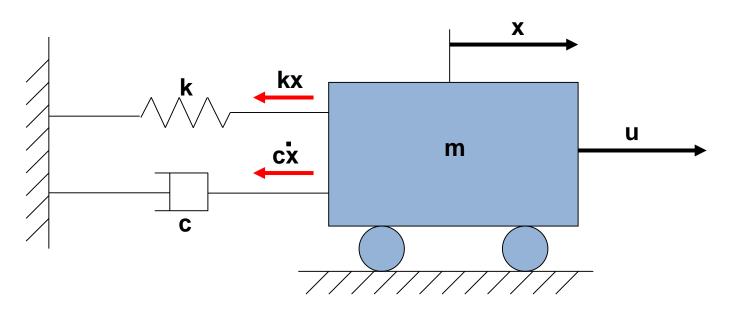


図 機械系ダイナミクスの例(1自由度振動系)



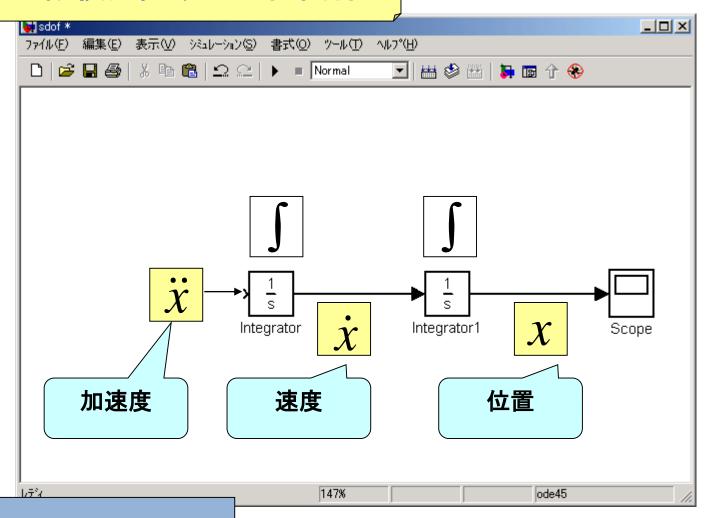
Simulink連続モデルの作成の基本原則

- STEP0 準備
 - 微分回数最大の変数を左辺に移項、残りを右辺に移項
- STEP1 微積分変数の位置関係
 - 式に登場する微分積分の関係を、積分器(Integrator)を使って表現する。
- STEP2 右辺 各項の要素 作成
 - 式の右辺に登場する項を、線を分岐させ作成する。
- STEP3 左辺と右辺の整合性
 - 右辺と左辺の整合性をモデルに表現する。

どんな複雑なモデルでも基本原則は変わらない。



STEP1 微積分変数の位置関係

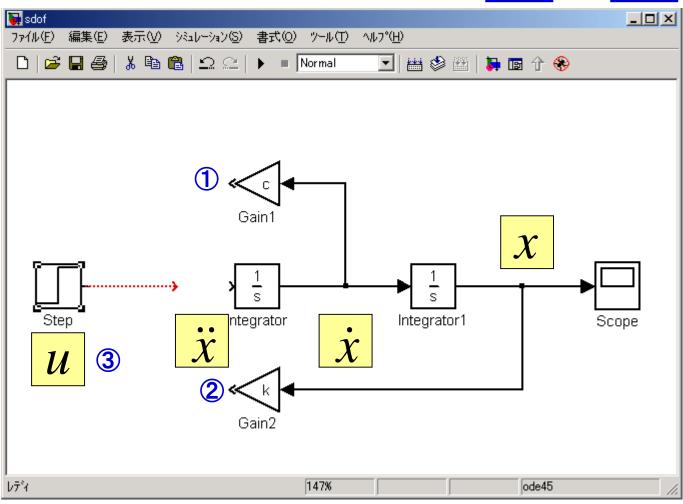


2階の微分方程式



STEP2 右辺 各項の要素 作成

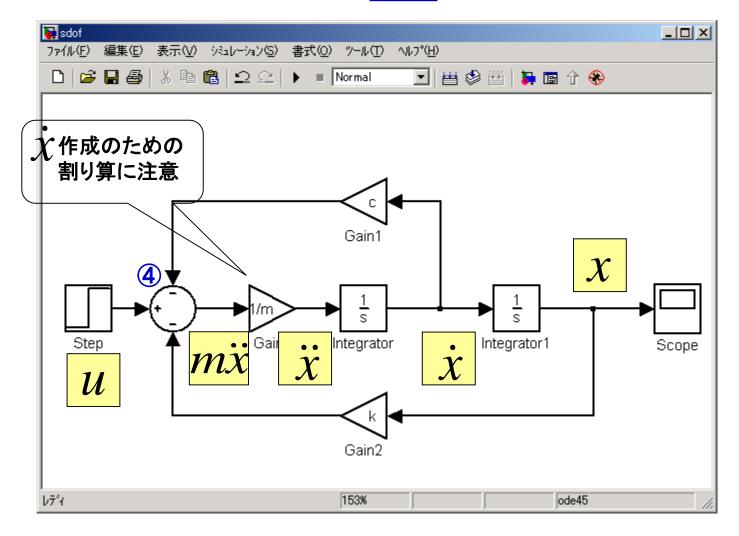
$$m\ddot{x} = -(c\dot{x}) - (kx) + u$$





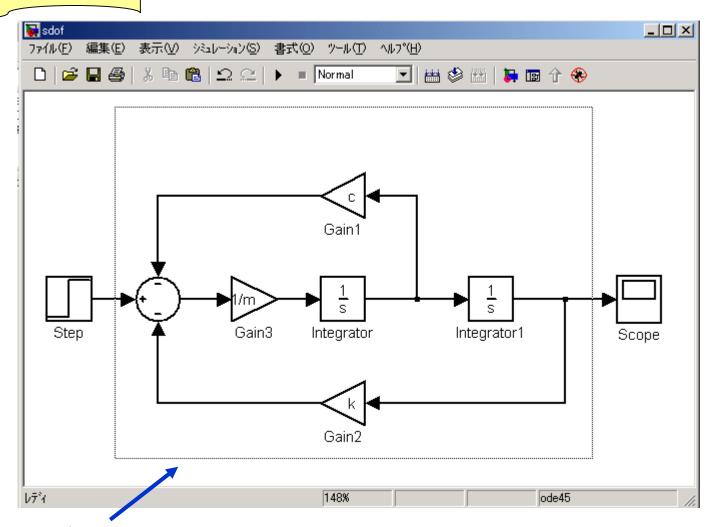
STEP3 左辺と右辺の整合性

$$\underline{m\ddot{x}} = -(c\dot{x}) - (kx) + u$$



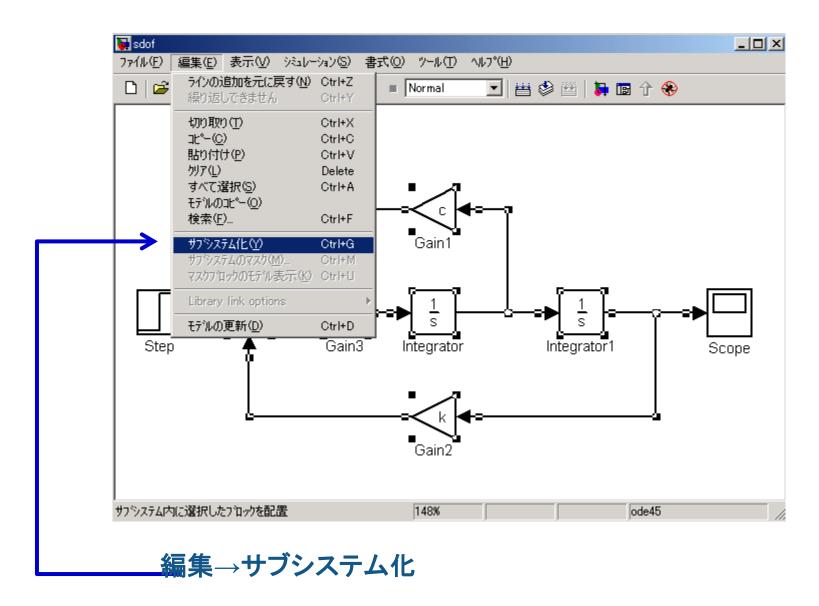


サブシステム化

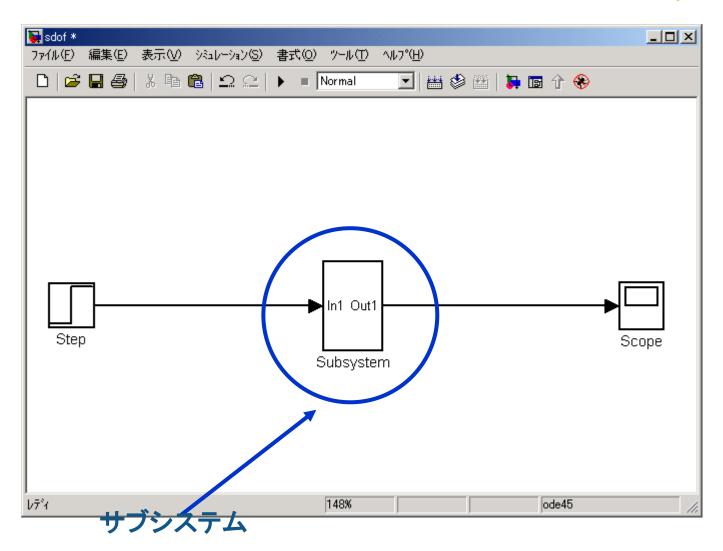


サブシステム化したい箇所を選択(マウス左クリック 範囲指定)





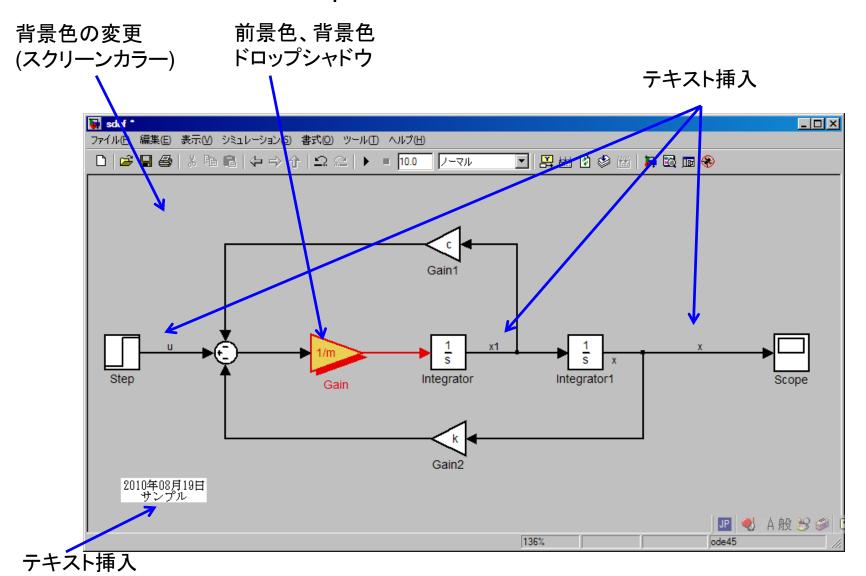




ダブルクリックでモデル表示



連続系 便利な機能 Tips

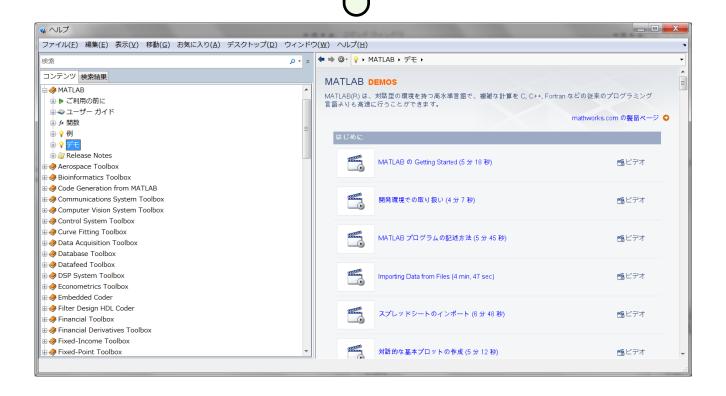




ロボットモデルに有益なデモ

- コマンドウィンドウから
- >>demo[Enter]

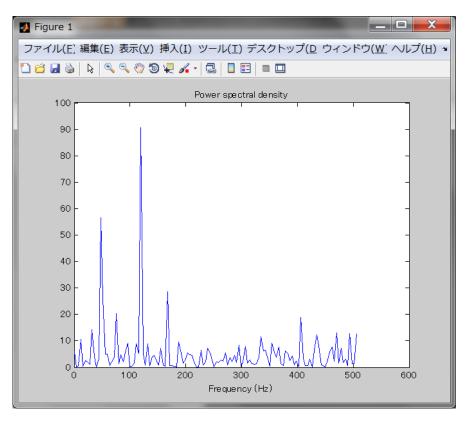
各ツールのユーザーガイド 関数 例 デモなどが見れる。





MATLAB 参考になりそうな標準デモ(1)

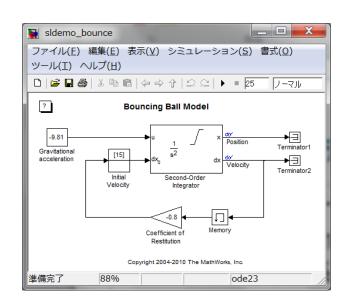
- デモ名:スペクトル解析のための FFT
- ファイル名:fftdemo.m

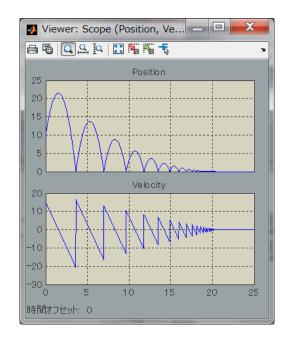




Simulink 参考になりそうな標準デモ(1)

- デモ名:跳ねるボールのシミュレーション
- ファイル名: sldemo_bounce.mdl
- エッセンス:連続系(sの世界)のモデリングが理解できる。





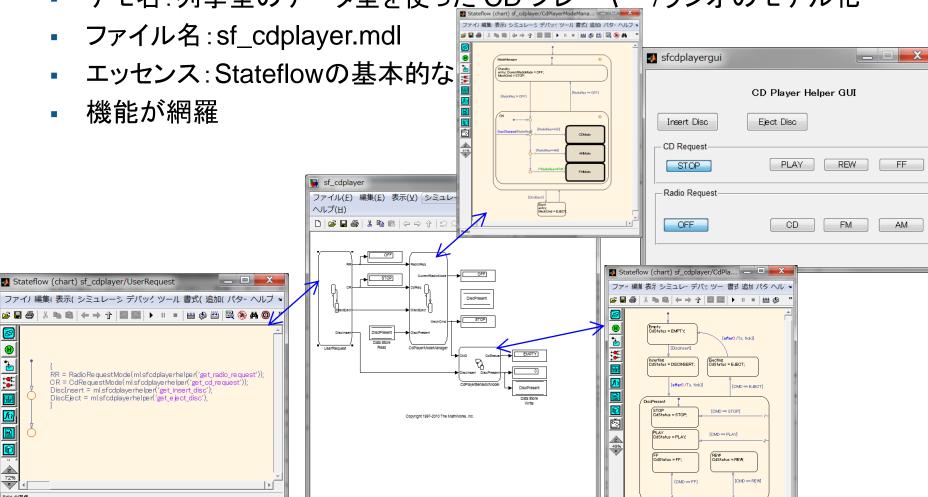


23

Stateflow

参考になりそうな標準デモ(1)

■ デモ名:列挙型のデータ型を使った CD プレーヤー/ラジオのモデル化

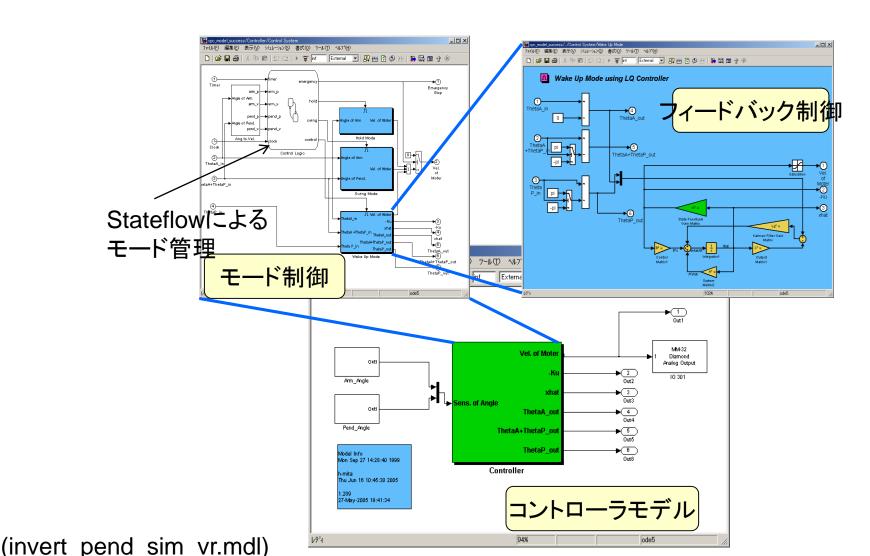


FixedStepDiscrete



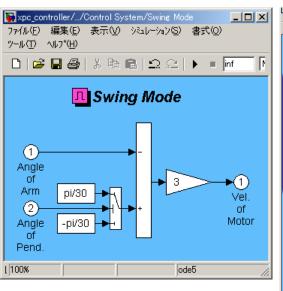
Stateflow

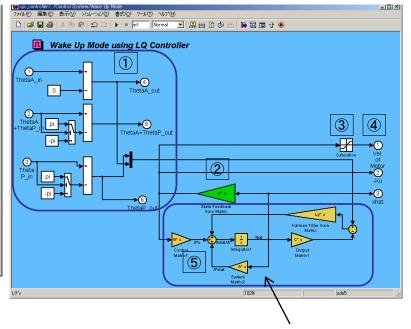
参考になりそうな一般デモ(2)シミュレーションモデル 倒立振り子

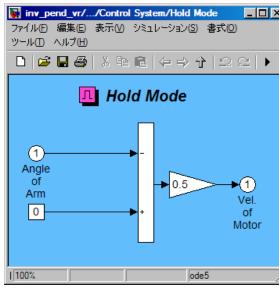




各モードのコントローラロジック





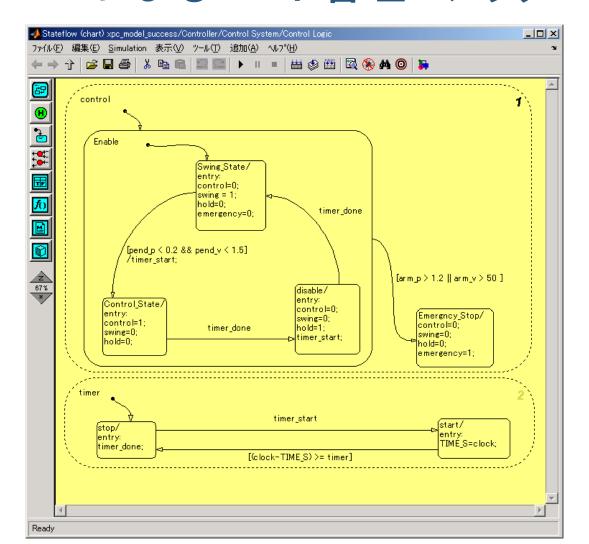


最適レギュレータと オブザーバ

- [1] Swingモード: 腕(Arm)を定周期で左右に振り、振子(Pend)を揺動させ徐々に鉛直上向きに近づけるモード。
- [2] Wake Upモード: 振子全体の安定化制御を行うモード。
- [3] Hold モード:制御を停止したモード。



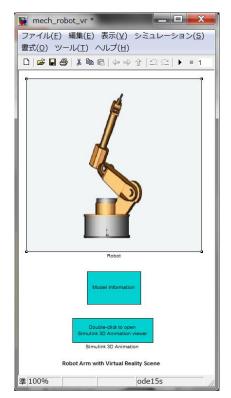
シミュレーションモデル 上級編 Stateflowによるモード管理ロジック

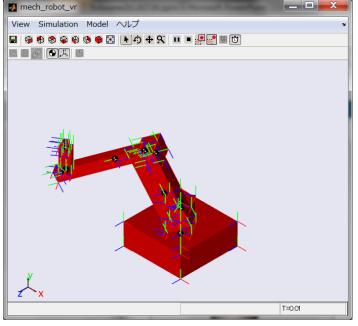




SimMechanics First Generation 参考になりそうな標準デモ(1)

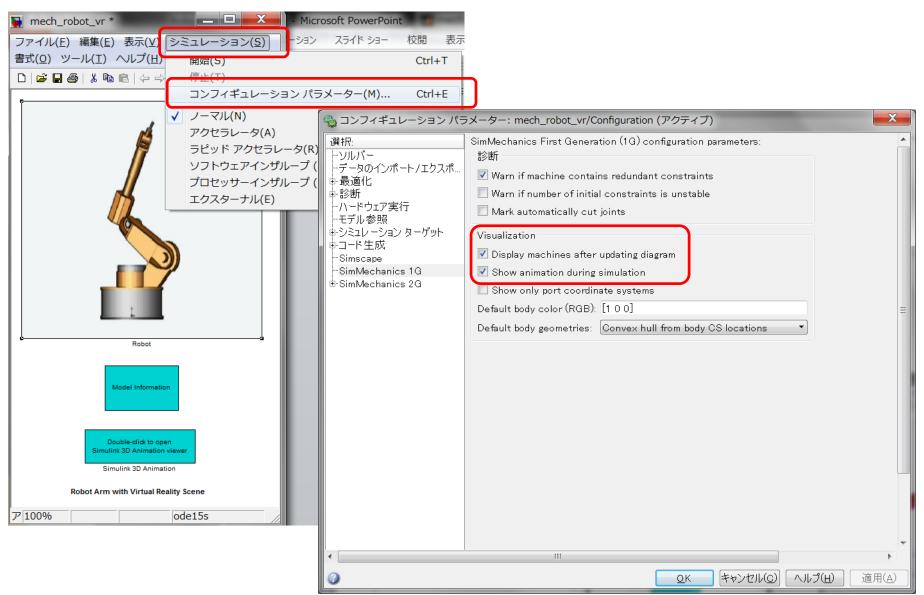
- First Generation: 先代までのSimMechanics
- デモ: Robot Arm with Virtual Reality Scene
- ファイル名: mech_robot_vr.mdl
- エッセンス: 多リンクのロボットアームのモデル化のイメージ







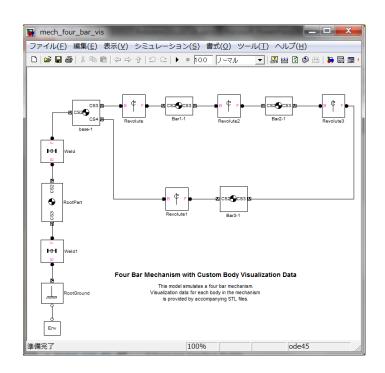
設定

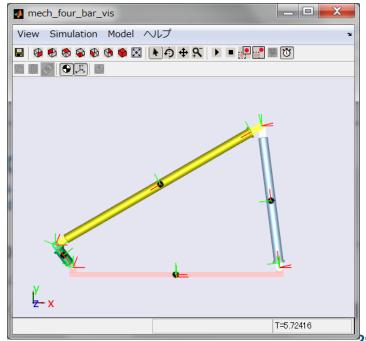




SimMechanics First Generation 参考になりそうな標準デモ(1)

- デモ: Four Bar Mechanism with Custom Body Visualization Data
- ファイル名:mech_four_bar_vis.mdl
- エッセンス:4リンク、ボディ(剛体)とJoint(関節:自由度)の関係
- STLファイルの張り方



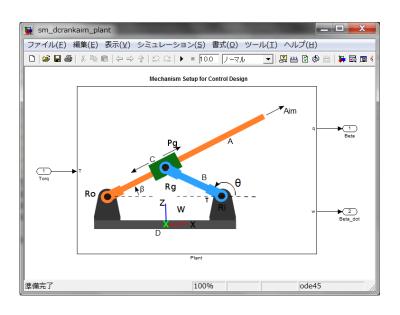


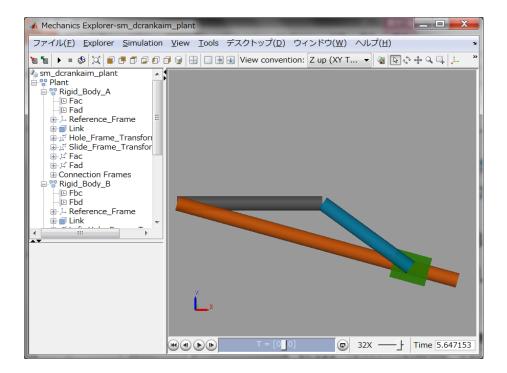


SimMechanics Second Generation 参考になりそうな標準デモ(1)

■ デモ: How to Build a Model

ファイル名:sm_double_crank_aiming.m

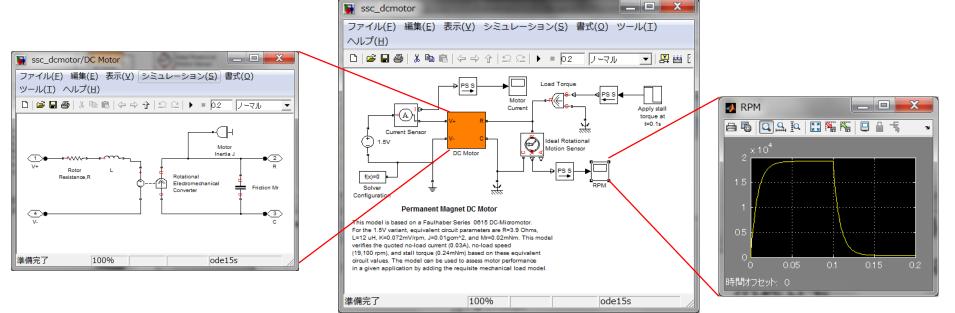






Simscape 参考になりそうな標準デモ(1)

- デモ:永久磁石DCモータ
- ファイル名: ssc_dcmotor.mdl
- エッセンス: Simscape標準ブロックでの電気+機械モデル の作り方

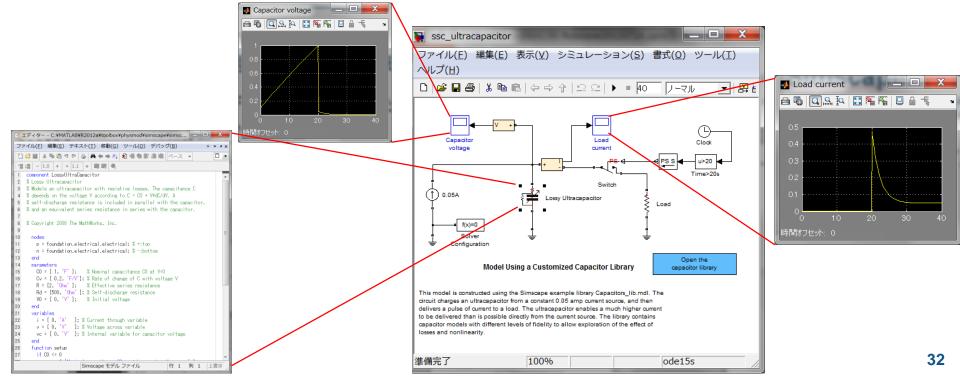




Simscape

参考になりそうな標準デモ(2)

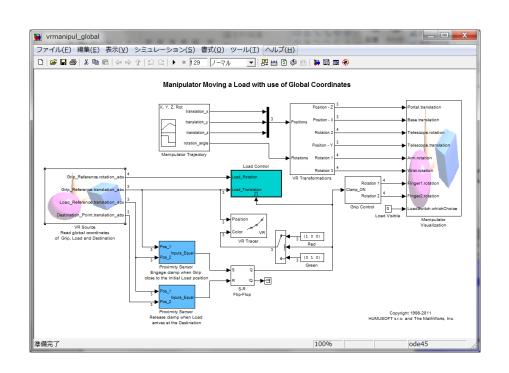
- デモ:カスタマイズしたコンデンサライブラリを使ったモデル
- ファイル名:ssc_ultracapacitor.mdl
- エッセンス: Simscape言語によるオリジナルモデルの作り方





Simulink 3D Animation 参考になりそうな標準デモ(1)

- デモ: Manipulator Moving a Load with use of Global Coordinates
- ファイル名:vrmanipul_global.mdl
- エッセンス:ロボットアームのVRML表示



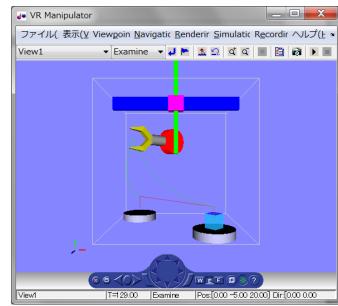


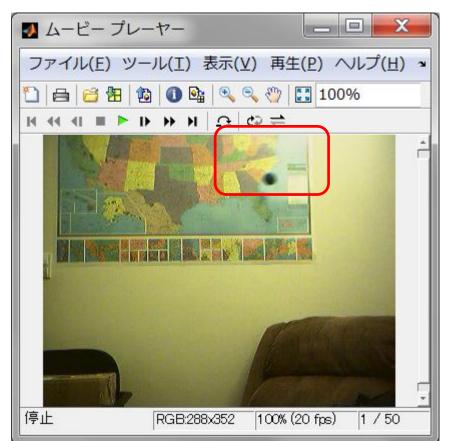


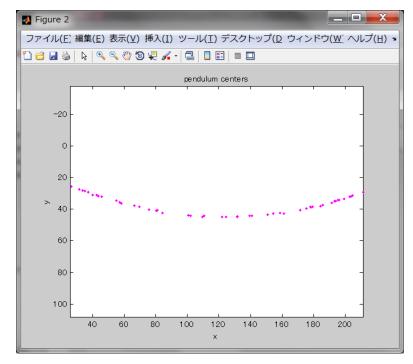
Image Processing Toolbox 参考になりそうな標準デモ(1)

デモ:動いている振子の長さを検出

ファイル名: PendulumLengthExample.m

エッセンス:静画像の処理

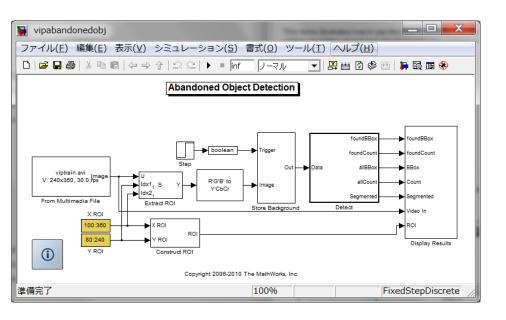


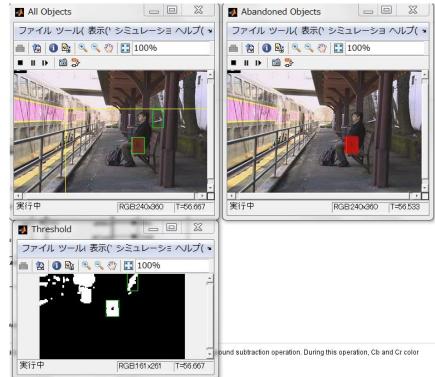




Computer Vision Toolbox 参考になりそうな標準デモ(1)

- デモ: Abandoned Object Detection
- ファイル名: vipabandonedobj.mdl
- エッセンス:動画像の処理







4. Simulinkによるサーボモータのモデル化

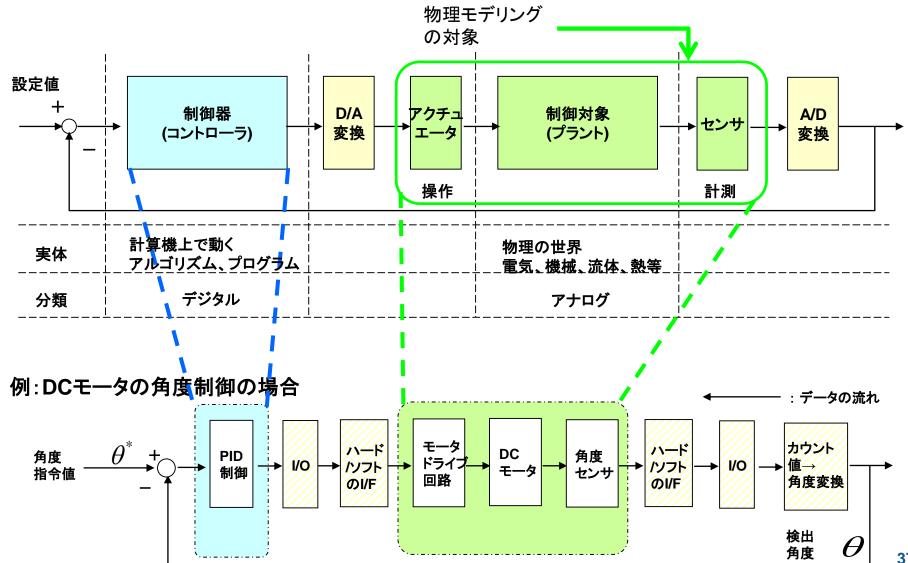
- サーボモータ
- 例 Dynamixel EX-106+



(株)ベストテクノロジー

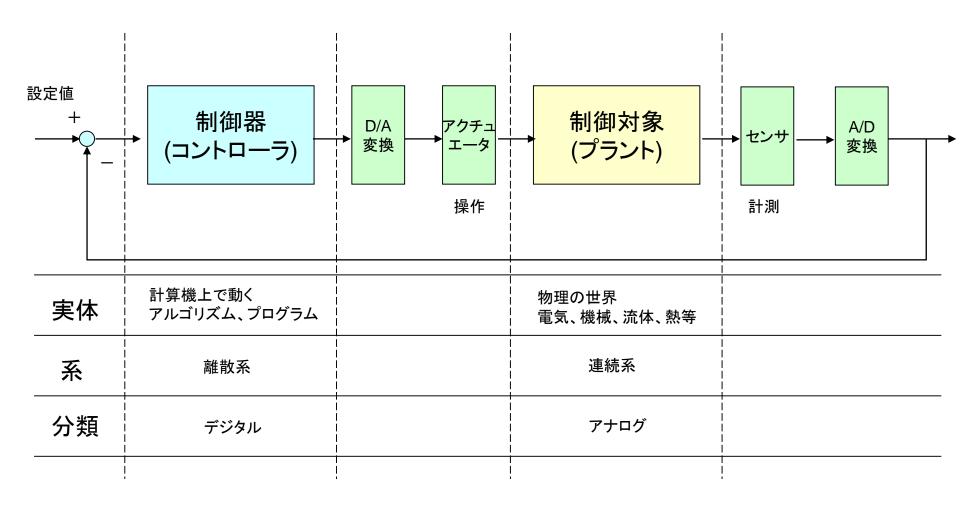


-般的なフィードバック制御の構造 (設定値追従制御)



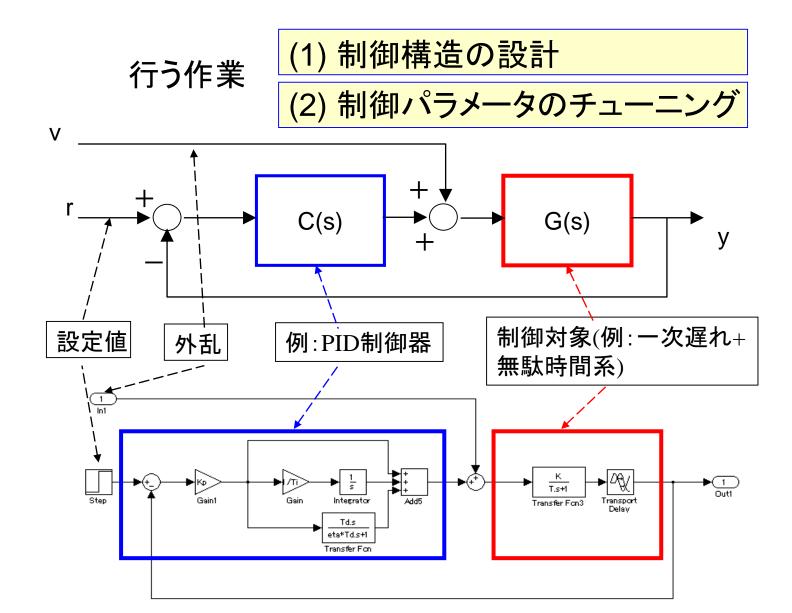


フィードバック制御の構造





簡単にすると





モータのモデリング

【要旨】

DCモータの数式モデルを例として、データフローのSimulinkと 物理モデリングのSimscapeを比べ、物理モデリングの基礎を掴む。

[ポイント]

- Simscape標準ブロックによるモデリング
- Simulinkモデルと比較

電気系
$$V = Ri + L\frac{di}{dt} + K_e \omega$$

動特性式

機械系
$$T = K_t i = I \frac{d^2 \theta}{dt^2} + c \frac{d \theta}{dt}$$

[記号]

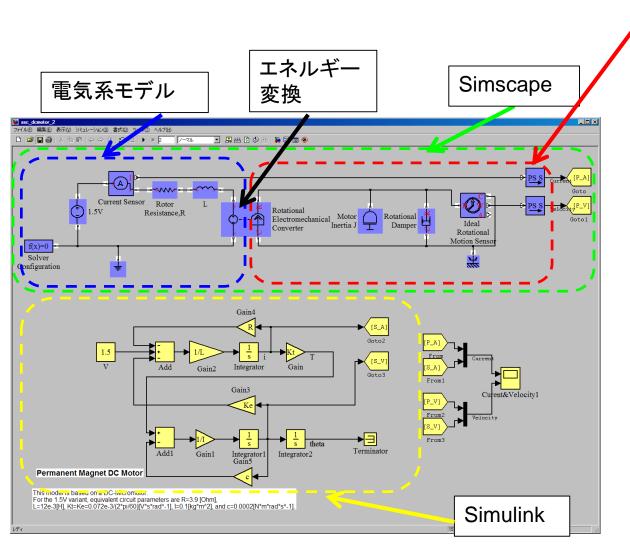
V:電圧[V],R:抵抗 $[\Omega]$,i:電流[A],L:自己インダクタンス[H], K_e :逆起定数 $[V\cdot s/rad]$,

T,:トルク K_t :トルク定数 $(K_t = K_e)$,I:慣性モーメント $[kg \cdot m^2]$,c:粘性係数 $[N \cdot m \cdot rad^{-1} \cdot s]$

$$\omega$$
:角速度 $[rad/s] \left(= \frac{d\theta}{dt} \right)$

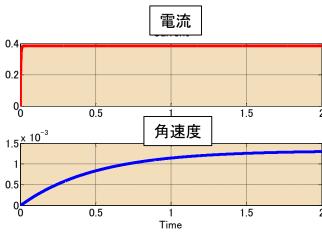


モータのモデル (Simulink/Simscape)



機械系モデル

SimscapeとSimulinkモデル シミュレーション結果(ほぼ等価)

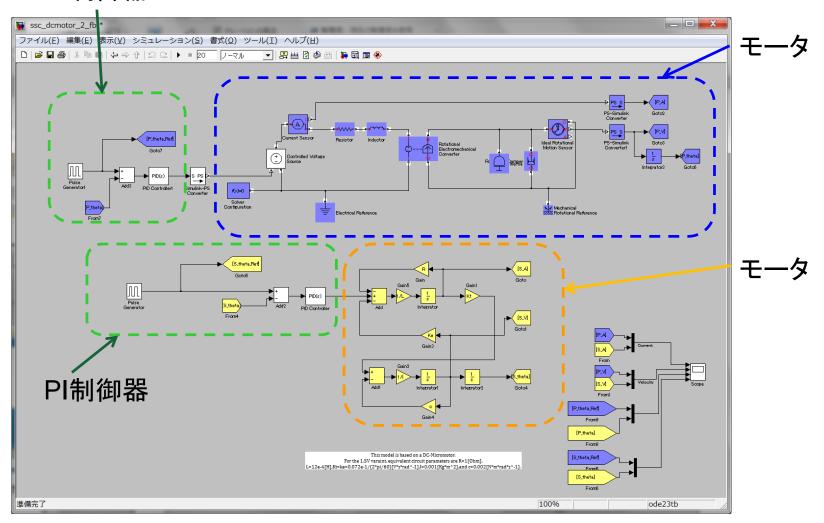


注記:パラメータ値 V=1.5;R=3.9;L=12e-3; Kt=Ke=0.072e-3/(2*pi/60); c=0.2;l=0.1;



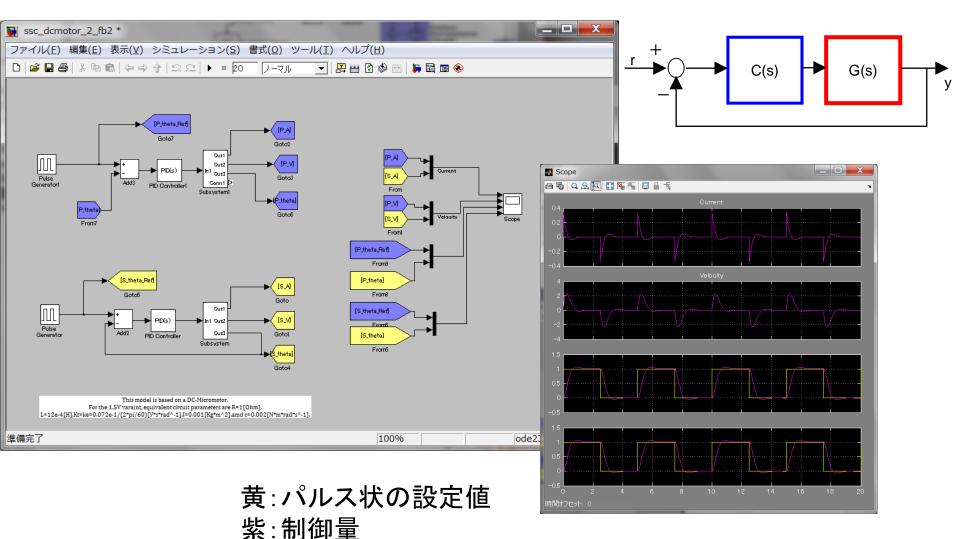
サーボモータのモデル(連続系)

PI制御器



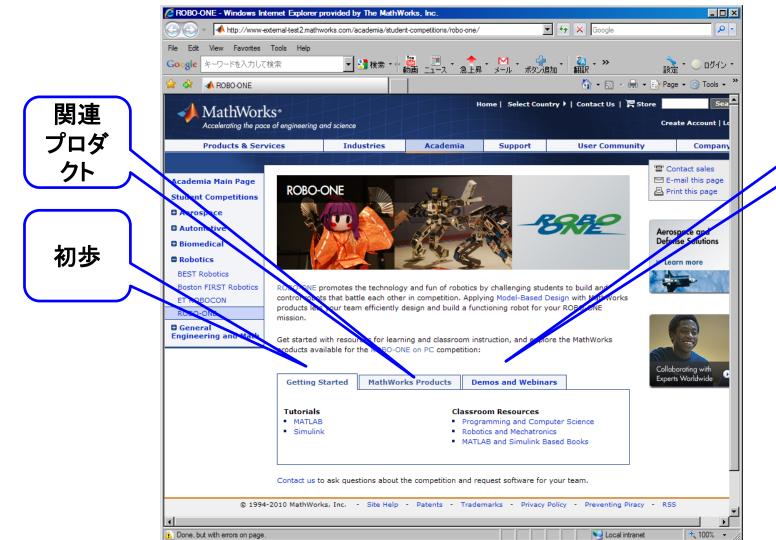


サーボモータのモデル (連続系) Subsystem版





MathWorksのRobo-One紹介ページ



関連 デモ



- 御清聴ありがとうございました。